

清水町社協福祉教育実践校事業助成金要綱

第1条 趣 旨

社会福祉法人清水町社会福祉協議会長（以下「会長」という。）は、静岡県福祉教育実践校フォローアップ事業の指定を終了した後も、積極的に福祉活動に取り組む学校に対して、その活動を促進するため、予算の範囲内において、助成金を交付するものとし、その交付に関しては、この要綱に定められるところによる。

第2条 助成額

別に定める額とする。

第3条 交付の申請

(1) 提出書類

ア、交付申請書（様式第1号）

イ、事業計画書（様式第2号）

ウ、請求書（様式第3号）

(2) 提出期限

別に定める日まで

第4条 助成の決定と交付

会長は、第3条の交付の申請を受けたときは、その内容を審査のうえ、実践校に交付決定通知をする。

助成金の交付は、原則として助成対象事業が完了した後に交付するものとする。

ただし、会長が必要と認めたときは、概算払い請求書を（様式第3号）を会長に提出するものとする。

第5条 実績の報告

(1) 提出書類

ア、実績報告書（様式第4号）

イ、事業報告書（様式第5号）

ウ、購入品の請求書、領収書

(2) 提出期限

助成金の交付のあった年度の翌年度の4月10日まで

附則 この要綱は、平成10年度から適用する。

様式第 1 号

清水町社協福祉教育実践校事業助成金交付申請書

令和 年 月 日

社会福祉法人清水町社会福祉協議会
会長 様

住所 _____

学校名 _____

校長名 _____ 印

令和 年度の清水町社協福祉教育実践校事業助成金を交付されるよう申請します。
なお、交付決定のうえは、概算払いされるよう併せて申請します。

記

1 交付申請額

(1) 金 額 円

2 概算払承認申請

(1) 金 額 円

(2) 理 由

(3) 時 期 令和 年 月～ 令和 年 月

事 業 計 画 書

学 校 名		生 徒 数	
所 在 地		電 話 番 号	
校 長 名			
活動目標			
活動計画 の 概 要			

上記のとおり提出いたします。

令和 年 月 日

学校名 _____

校長名 _____ 印

社会福祉法人清水町社会福祉協議会
会長 様

様式第3号

請求書(概算払請求書)

金

円也

令和 年度の清水町社協福祉教育実践校事業助成金として、上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

社会福祉法人清水町社会福祉協議会
会長 様

住 所 _____

学校名 _____

校長名 _____ 印

(振込先)

金融機関・支店名 _____ 支店

預金口座(普通・当座) 口座番号 _____

名 義 _____

様式第4号

清水町社協福祉教育実践校事業実績報告書

令和 年 月 日

社会福祉法人清水町社会福祉協議会
会長 様

住所 _____

学校 _____

校長名 _____ 印

令和 年度の清水町社協福祉教育実践校事業が完了したので、関係書類を添えて、
報告します。

様式第5号

清水町社協福祉教育実践校事業報告書

1. 活動報告

項 目	具 体 的 な 活 動 内 容
1. 広報啓発活動	
(1) 講演会映画会等の開催	
(2) 学校新聞、広報等	
(3) その他	
2. 調査・研究活動	
3. 体験学習を目的とした実践活動（訪問・交流・ボランティア活動等）	
(1) 社会福祉施設等での訪問活動	延べ人数（ ） 延べ参加者（ ）
(2) 社会福祉施設等での宿泊を伴う活動	延べ人数（ ） 延べ参加者（ ）
(3) 地域社会での活動	招待対象（ ） 延べ回数（ ）
(4) 学校行事への招待	招待対象（ ） 延べ回数（ ）
(5) 環境美化活動等	
(6) 国際理解・協力活動	
(7) その他	
4. ボランティア講座・募金活動への参加	
5. 実践校相互の交流	
6. その他	

2. 経費内訳

種 別	金 額	備 考	種 別	金 額	備 考
(1) 謝礼	円		(7) 印刷製本費	円	
(2) 旅費	円		(8) 調査研究費	円	
(3) 役員費	円		(9) その他	円	
(4) 消耗品費	円				
(5) 食料費	円				
(6) 使用料・貸借料金	円		合 計	円	

上記のとおり報告します。
令和 年 月 日

社会福祉法人清水町社会福祉協議会
会長 様

住 所 _____

校長名 _____ 印